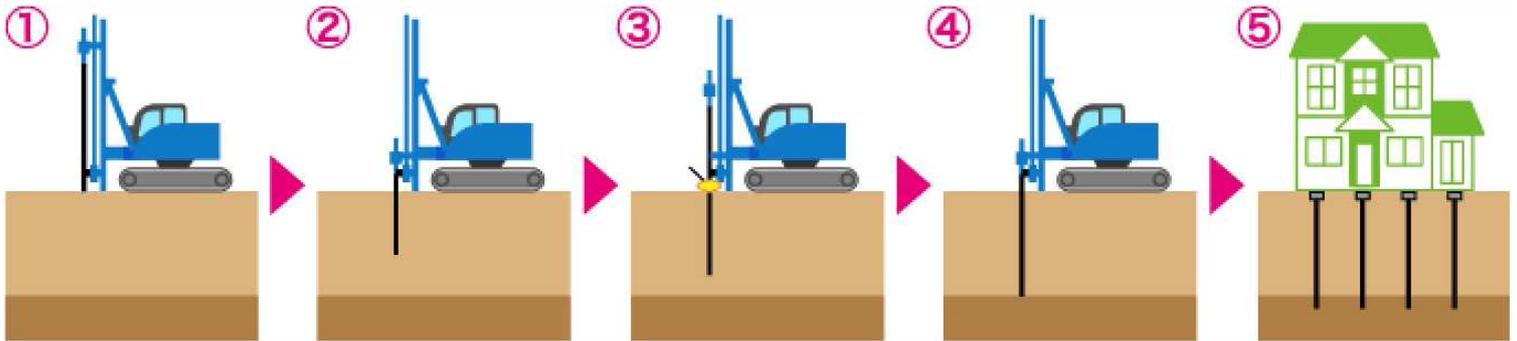


●鋼管杭工法

「鋼管杭工法」とはΦ114.3～267mm程度の鋼管杭を用いて硬い地盤に貫入・支持させることにより、住宅の沈下を防ぐ工法です。「柱状改良工法」や「表層改良工法」と違い、地盤自体を改良し固めるのではなく、深い位置にある硬い地盤に杭をさして、その杭で基礎を支える工法です。軟弱地盤が深く、「表層改良工法」や「柱状改良工法」を利用できない場合や、堅固な層がある場合はこの「鋼管杭工法」を利用します。



D・パイル杭工法は、杭先端部の外周に杭径の2倍から3倍程度の大きさの螺旋翼(外翼)を取り付けた鋼管杭を右回転により回転貫入させる工法です。

低騒音・低振動での施工が可能で、排土処理が一切不要の、掘削土や泥水などが発生しない環境に優しい工法です。

D・パイル杭工法は国土交通省認定工法です。



D・パイル杭工法の最大の特徴は、杭先端の回転翼です。翼の無い鋼管に比べて支持力が強化されます。

